

## 子どもの困りに気づいたら…

一人で悩まないで相談してみましょう。

一人一人に応じた支援ができる場所があります。



### 「特別支援幼児教室」について

言葉、聞こえ、発達の面で心配な子どもに対して、週に1回2～5時間、幼稚（保）園にある幼児教室に保護者と共に通級し、子ども一人一人の興味や関心を手がかりにしなが、個別の指導やグループ指導、学級集団の中で遊びを通して楽しく必要な力を身につけられるよう指導していきます。

対象は松江市在住の3歳～小学校入学前の子どもです。

#### 〈幼児教室はここにありま〉

- 母衣幼稚園 ○城北幼稚園 ○中央幼稚園 ○古志原幼稚園
- 揖屋幼稚園 ○幼保園のぎ ○しんじ幼保園 ○城西幼保園
- 古江幼稚園 ○大庭幼稚園 ○講武幼稚園

### 「にこにこ教室」（エスコ療育）について

発達や行動面等に心配のある子どもに対して、週に1回60分程度、エスコで一人一人のニーズに合わせてプログラムを作成し就学に向けて療育を行います。

子どもの興味関心を手がかりにしなが「コミュニケーション・社会性」「感覚・運動」「認知」「学習態勢」を中心に個別の療育やグループによる療育で発達を促します。

対象は松江市在住の3歳～小学校入学前の子どもです。



## 子育てリーフレット



松江市発達・教育相談支援センター「エスコ」

松江市保健福祉総合センター3階

TEL:0852-55-4013

詳細は発達・教育相談支援センター「エスコ」へお問い合わせください。



## こんな姿が気になっていませんか？



子育ての中で気になる姿は、子ども自身が困っている姿かもしれません。  
ご家庭での気づきや悩みなどありましたら、お気軽にご相談ください。

### 体の動きや行動についての困り

- \*体の動きがぎこちない
- \*不注意で転びやすい
- \*じっとしておられず、常に体が動いている
- \*キレやすい



### 感覚の過敏さについての困り

- \*大きい音やざわざわした場所が苦手
- \*手足が汚れたり、ぬれたりすることに抵抗が強い
- \*目に見えたものにすぐに向かっていく

### 友だち関係や集団活動での困り

- \*勝つことや1番に執着する
- \*順番が守れない
- \*みんなで遊ぶことが苦手

よく見てみよう！  
子どものすがた



### 社会性についての困り

- \*視線が合いにくい
- \*危険なことがわかりにくい
- \*かかわりが一方的
- \*急な予定の変更で混乱してしまう



### コミュニケーションについての困り

- \*ことばでうまく話せない
- \*ことばがつまる
- \*例え話の理解が苦手
- \*思ったことをストレートに口に出す
- \*質問とは違う答えを返し、会話が成り立ちにくい

子どもの気になる姿の原因として「発達障がい」が考えられる場合があります。「発達障がい」は、脳の機能的な障がいから生じていると考えられており、いくつかの種類がありますが、診断は専門の医師が行います。

「発達障がい」は子育ての問題や本人の努力不足によるものではありません。しかし、「しつけが悪い」、「わがまま」などと捉えられてしまうと、強く叱ったり、無理強いしてしまったりすることにつながり、さらに困難な状態になることがあります。「困った子」ではなく、「困っている子」かもしれないという見方が大切です。保育所(園)や幼稚(保)園、認定こども園、必要に応じて専門機関に早めに相談することで、適切な支援につなげることができます。



子どもが安心して  
外の世界へでかけていくために  
家庭で土台づくりを

～子育てのポイントを紹介します～



感度良好のアンテナを張って  
子どもの心を満たすかわりを

- \*愛情のあるよい反応の繰り返し人が信頼感を育てます。
- \*子どもの話をしっかり聞き、うれしい思いや悲しい気持ちに共感してことばを返すことで、「自分は大切な人」という意識が生まれます。
- \*具体的な行動を示し、その場でほめることで「自分はすごいな」という思いを育てましょう。

「いけないこと」を怒るのではなく、叱ること

- \*危険なこと、するべきではないことには「ダメ」というだけではなく冷静に子どもの目を見ながら何故いけないのか理由を伝え、具体的にどうすればよいのかを話していきましょう。「叱られるからしない」では学びにつながりません。簡単な約束事を決め、スモールステップの頑張りを認めていきましょう。

早寝早起き朝ごはんを合言葉に

- \*規則正しい生活リズムを意識しましょう。
- \*夜 11:00 までにぐっすり眠っている状態で、成長ホルモンが分泌されます。遅くとも 9:30 には寝る体制になるといいですね。

スキンシップも兼ねて  
身体を使った遊びを親子で

- \*身体づくりは脳やことばの発達、自分の感情のコントロール力を促します。
- <例えばこんな遊び>
- 布団の上ででんぐり返り・お馬さん遊び
  - 両手をつないでくるりん・手押し車
  - など

テレビ、スマホ、ゲームは短時間で切り上げを

- \*子どもを静かにさせておくには助かるツールですが、長時間の視聴は視力だけでなく、脳の発達や人とのコミュニケーションの力に影響がでてくるようです。動く画面を見続けていると、見ていないときは自分が動いていないと落ち着かないようになってしまう場合もあります。視聴する時間や回数を前もって決めておくといよいでしょう。

# サポートファイル「だんだん」

サポートファイル「だんだん」でつながります



サポートファイル「だんだん」は特別な支援を必要とするお子さんの様子や、これまでの相談の情報をいろいろな相談支援機関につなぐツールです。このファイルは、保護者が相談記録を記入したり、在籍する園・所、学校、支援機関等と共に作成する個別の教育支援計画等を綴ったりするものです。

このファイルに情報が集まると、誰もがこのファイルを見るだけでお子さんの情報を知ることができ、一貫した支援につながります。

入園、入学、相談医療受診等の際には、関係者にこのファイルを提示しましょう。

松江市在住のご希望の方に無料でお渡ししております。  
サポートファイル「だんだん」をご希望の方は  
松江市発達・教育相談支援センター「エスコ」まで  
ご連絡ください。

TEL 0852-55-4013



発達・教育相談支援センター「エスコ」のホームページから  
書式をダウンロードすることもできます。

検索:

